

赤ちゃんふれあい教室 (児童ふれあい交流事業) が開催されました

7月29日に保健センターにおいて、次代の親となる中学生を対象に、赤ちゃんとその家族とのふれあいを通して生命の大切さを学ぶ「赤ちゃんふれあい教室」が開催されました。

当日は、10名の中学生が参加し、3〜5カ月児健診を受診した赤ちゃんの抱っこや家族の方と話をしながら、赤ちゃんたちとふれあいました。

参加した中学生たちは赤ちゃんを目の前にすると、自然と優しい笑顔になりました。「赤ちゃんとふれあう機会が少ないので、教室に参加できてよかった」「赤ちゃんは笑っていたし、お母さんはうれしそうだった」などの感想が聞かれました。

また、自分の幼い頃と重なり母親の子どもに対する思いを感じ、生命の大切さを知る、貴重な体験になりました。



親子料理教室が 開催されました

7月28日、保健センターにおいて、夏休みに親子で料理を作り、作る楽しさやバランスの取れた食生活の大切さ等を学んで欲しいと、食生活改善推進委員会の主催で「親子料理教室」が開催されました。

当日は、12人の親子が参加しました。参加した子ども達の中には男児も多く、真剣なまなざしで包丁を使い、ケチャップライス、ツナの焼きコロツケ、トマトと豆腐のサラダ、コンソメやささいスープ、ぶちぶちフルーツポンチ作りに挑戦していました。また、食後に紙芝居や読み聞かせなど楽しい時間を過ごしました。

参加した子どもたちからは、「楽しかった」、「おいしかった」という感想が聞かれました。



花の苗が五霞中学校から 中央公民館に 贈られました

7月14日、五霞中学校から中央公民館へブルーサルビア・黄花コスモス・コリウス・バジルなど9種類の花の苗約1,000本が贈られました。

昨年に引き続き贈られた花の苗は、生徒と先生が種から愛情を込めて育てたもので、当日は女子バスケットボール部の生徒たちが中央公民館の花壇に1本1本でいねいに植えてくれました。なお、植えられた苗は9月から11月頃に見ごろを迎えますので、中央公民館に来館の際には、ご覧ください。



夏の交通事故防止県民運動が実施されました



7月20日から8月20日までの期間、夏の交通事故防止県民運動が実施されました。7月15日には、元栗橋東京電力変電所前にて、境地区交通安全協会五霞支部・五霞町交通安全母の会、境警察署の協力により、夏のキャンペーンが実施されました。当日は、運転手さん300名へ交通安全のチラシとうちわの配布を行い、交通ルールの遵守及び交通マナーの向上を呼びかけました。

また、期間中、防災行政無線を使い、五霞東・西小学校児童による広報活動を実施し、町内の交通事故防止を広く周知しました。